

電動モータ開発のベストパートナー



Webサイト

モータ性能受託試験・モータ性能試験システムの販売（多様なカスタマイズに対応）
モータ性能評価試験でお困りの方、まずはご相談ください



人とくるまのテクノロジー展
Automotive Engineering Exposition
2025 YOKOHAMA

受託試験・レンタルラボの
株式会社 テクニカルサポート
TEL:053-523-2231 mail:oishi@t-support.co.jp

小間番号 205

モータ性能試験装置です

AVL



より地球にやさしく、より安全で安心なモビリティ社会の実現のために

人とくるまのテクノロジー展2025 YOKOHAMA

AVLは、オーストリア・グラーツに本社を置き、自動車業界をはじめ、鉄道、船舶、エネルギーなど、さまざまな業界で開発とシミュレーション、試験を行うモビリティテクノロジーのリーディングカンパニーです。

2025年は、「未来のモビリティを創造する：革新と効率」をテーマに掲げまして、日本初公開の革新的な30,000回転e-アクスル他、シームレスにバーチャルと実機実験を融合した開発など、開発効率を加速する数々のソリューションをご紹介致します。

最新技術を体験し、未来のモビリティを感じてください。

小間番号:189



www.avl.com/ja-jp

エイヴィエルジャパン株式会社 〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東3丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル8階 TEL:044-455-9200

KITO

なんだ？この軽さ！

両手でバランスしながら、荷重を感じることなく荷物の搬送をサポート！

キトー電動チェーンバランサ

その軽さ、キトーブースでぜひ体感ください！

2025.5/21(水)▶23(金)
10:00-18:00 (最終日は9:00-16:00)
●パシフィコ横浜 ●小間番号:121

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA

製品についてのご相談・お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ！
0120-988-558 株式会社キトー お客様相談センター (受付時間 9:00~16:00(土・日・祝日を除く))



「人とくるまのテクノロジー展2025 YOKOHAMA」が、21日から23日までの3日間、横浜・みなとみらいのパシフィコ横浜で開かれる。主催は自動車技術会（JSAE）。開場時間は10～18時（23日は9～16時）。入場は無料だが、完全事前登録制。またウェブ開催の「オンラインステージ1」は14日から6月4日まで開設される。イベントの詳細はホームページ（<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama>）へ。



最先端のクルマや関連技術を届ける（前回開催：2024年）

パシフィコ横浜 21日 開幕

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA

Automotive Engineering Exposition 2025 YOKOHAMA

●春季大会・学術講演会 《併催》

JSAEは人とくるまのテクノロジー展と並行して25年春季大会・学術講演会を開催する。学術講演会や学生ポスターセッション、キーノートアドレスなどが行われる。キーノートアドレスは22日17～18時に、ホンダの三部敏宏社長が「電動化・知能化時代に於けるモビリティ産業の広がりについて」をテーマに講演する。

また22日13時45分からは「第75回自動車技術会賞」の授賞式が会議センターで行われる（参加は受賞者・関係者のみ）。自動車技術会賞は1951年に自動車工学と自動車技術の向上発展を奨励することを目的として創設され、自動車技術における功績を顕彰している。今回の受賞は22件となった。

EV・HV関連増加
好評!! ホワイトボディ展示



近年はカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現に向け、ハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）に関する展示が増えており、今回も引き続きこれらに関する多くの製品・技術の提案が、予想される。

アネックスホールのホワイトボディ展示は、トヨタの「C-HR」とホンダの「N-VAN e:」のホワイトボディ（塗装前の車体）が展示される。ホワイトボディの展示は例年好評で、多くの来場者が足を止めていた。22日13時半からは同ホール内でフォーラム「車体の最新技術2025」が行われ、展示車両に関する講演も用意されている。

目玉の技術・製品を取り扱うブースを、限られた時間でまわるには事前の下調べが有効だ。14日スタートするオンラインステージ1を活用することで、リアル展を効率よくまわることができる。気になる技術や製品、社名などを検索し、表示された出展者の中から訪問したいブースを見学リストに追加することで、デジタル会場マップに自動反映される。ブースごとに見学メモを入力できるため、報告書の作成などに活用できる。

DXで広がる自動車技術



自動車技術会（JSAE）は、素部品・技術や、試験・解析、設計支援などに使われる装置やシステムなどが一堂に会する（前回開催：2024年）。

今回は617社・団体が1470小間の規模で出展する。自動車技術会が主催する「自動車向け通信サービス」の活用が進んでいる。同展では①DXで実現するクルマの進化②クルマを取り巻く社会・サービスの進化③モノづくりの進化という三つの視点で、主催者企画展示・講演が行われる。

講演は各日2本ずつの開催で、会場はアネックスホールのF201・F202。定員は各回300人で、聴講無料だが事前予約が必要。28日から6月4日まで、アーカイブ配信も予定されている。

ノース会場には「モビリティDXエリア」が設置され、「自動車に関するDX」をテーマに、出展者によるプレゼンテーションステージ「モビリティDXイノベーションステージ」が行われる。事前予約は不要で、無料で聴講できる。

これまでの好評だったホワイトボディの展示を今回も行う（前回開催：2024年）。

名古屋展示会

7月16日開幕

横浜展に続いて7月16日から18日までの3日間、愛知・セントレアのアイチ・スカイ・エキスポでは「人とくるまのテクノロジー展 2025 NAGOYA」が開かれる。

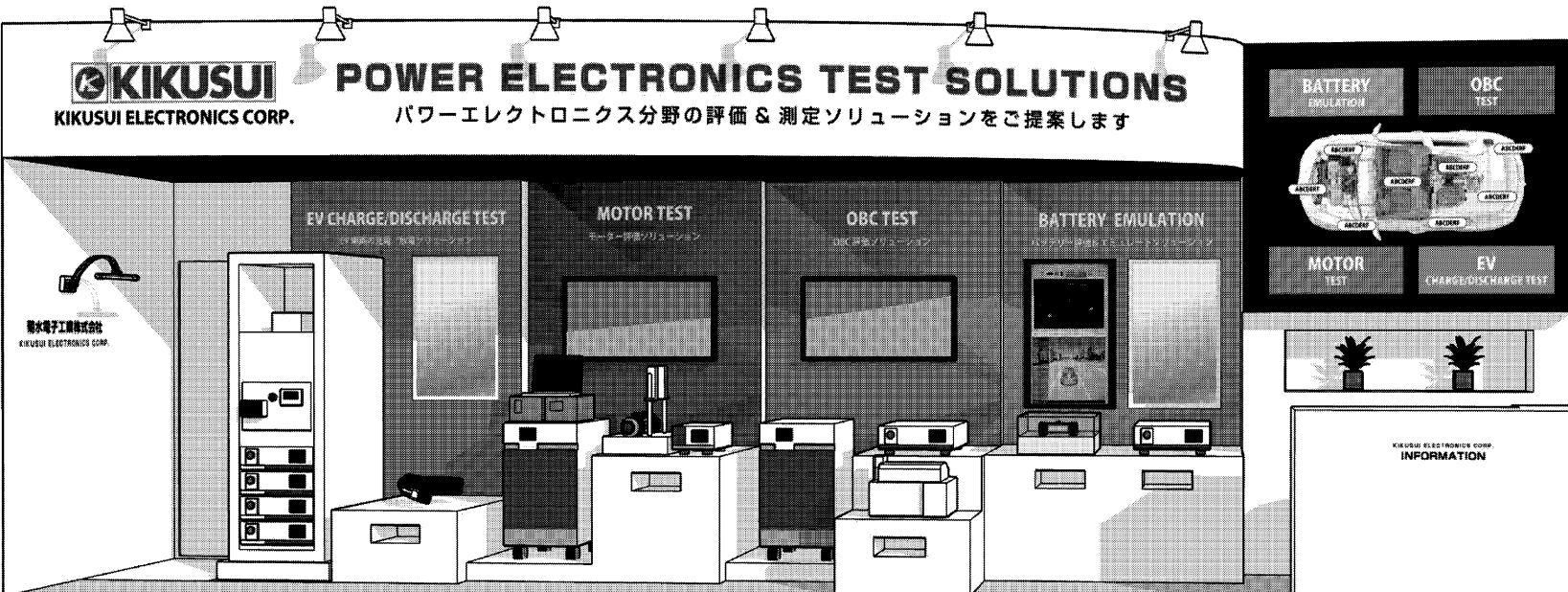
それと連動して、ウェブ開催の「オンラインステージ2」は7月9日から30日まで開設される。

KIKUSUI EXHIBITION NEWS

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA
Automotive Engineering Exposition 2025 YOKOHAMA
パシフィコ横浜
5/21 WED 22 THU 23 FRI 10:00~18:00 (最終日は9:00~16:00) 小間番号 138

「パワーエレクトロニクス分野の評価&測定ソリューション」

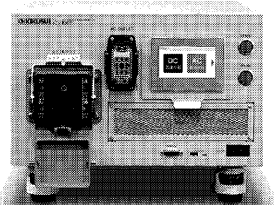
本年も2025年5月21日（水）から23日（金）に開催されます「人とくるまのテクノロジー展 2025」に出展する運びとなりました。今回の展示では、弊社の主力製品を用いた「EV充電放電テスト」、「モーターテスト」、「バッテリーテスト」、「OBCテスト」など、さまざまな評価環境に対応したソリューションを具体的に展示し、弊社製品の特長や魅力を分かりやすくお伝えいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



▲ブースイメージ ※実際とは異なる場合がございます。

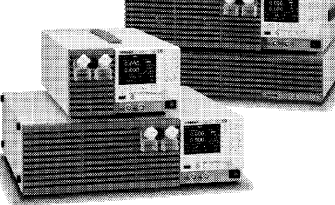
主な出展製品のご案内

様々なEV充電ソリューションをご提供
●世界各国の電気自動車充電規格に対応



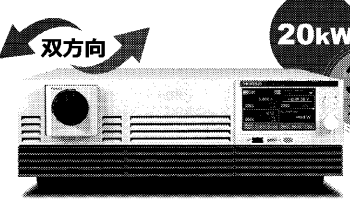
EV充電 / 放電多目的コントローラ
KEV1000シリーズ

高速応答・省スペース化を実現



多機能直流電子負荷装置
PLZ-5Wシリーズ

3Uサイズで20kW
様々な要求に対応できる双方向直流電源



双方向大容量直流電源
PXBシリーズ

多機能&大容量をパッケージングした
双方向交流電源



新オプション
CC LOAD /
CC SUPPLY
モード搭載*
*参考出品

大容量スマート交流・直流安定化電源
PCR-WEA/WEA2シリーズ

**COIWI**
Additive Manufacturing

型にはまらない鋳物屋

小間番号 451

**“MAY THE CASTING FORCE
BE WITH YOUR PARTS”**

鋳造の力が、あなたの部品とともにあらんことを。

コイワイの3D鋳造技術がサービスパーツの「ない?」を「ある!」に。

株式会社コイワイ 〒256-0804 神奈川県小田原市羽根尾244番地6 Tel.0465-44-2015

**NT**
日本端子

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA に出展致します。

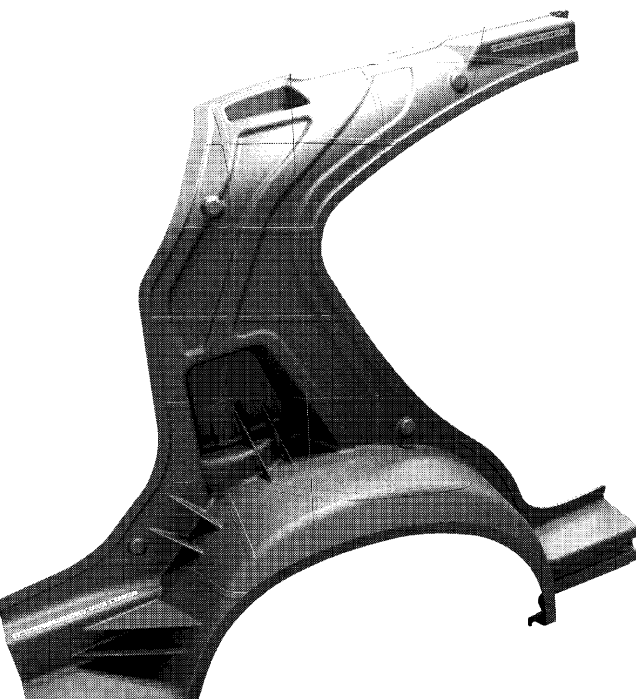


日本端子ホームページ
人とくるまのテクノロジー展出展案内ページ



パシフィコ横浜
ノース会場 ブースNo.N78

調達購買・開発設計者様に朗報!ぜひ一度相談ください!

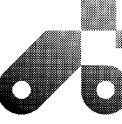


砂型鋳造

月産対応可能数 **1個~500個**

特長

小ロット量産に対応いたします。
生涯生産数が数十個~数百台の製品であれば十分対応が可能です。
もちろん開発試作案件にも対応いたします。
(短納期・高品質・一貫受注)
材質はアルミニウム・マグネシウム・鉄鋼に対応いたします。
ISO9001、ISO14001認証取得

**人とくるまのテクノロジー展**
Automotive Engineering Exposition
2025 YOKOHAMA

開催日時: 2025年5月21日(水)~23日(金)
会場: パシフィコ横浜 小間番号415番



人とくるまのテクノロジー展 検索
https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/exb_list/#sec_exh

名称: 四輪用フレーム
寸法: 縦1373mm×横1210mm×幅510mm
重量: 10.9kg

**所沢軽合金 株式会社**

〒359-0027 埼玉県所沢市松郷154番地
TEL 04-2944-0415 FAX 04-2944-7167
kaihatsu@tokorozawakeigoukin.co.jp

www.tokorozawakeigoukin.com

**人とくるまのテクノロジー展**
Automotive Engineering Exposition

日本におけるコネクテッドサービス 認知・利用状況と今後の期待

サービスに対する世界各国の意識の比較

当社は自動車関連の新技术の消費者調査を毎年実施している。人とくるまのテクノロジー展2025の開催を前に、コネクテッドサービスに関する調査を行った結果、自動車市場規模の拡大が継続する新興市場では同サービスの利用率が既に高いのに対し、成熟市場での利用率は低く、普及速度に違いが見られた。成熟市場の中でも日本は機能の認知自体が進まず、利用も拡大してないという欧米成熟市場からも後れている現状が明らかとなった。

図1 コネクテッドサービスの利用状況(2022年~2024年)

国	2022 (%)	2023 (%)	2024 (%)
ブラジル	45	55	65
ドイツ	35	45	55
インド	55	65	75
日本	35	45	55
中国	75	85	90
韓国	55	65	75
英国	45	55	65
米国	55	65	75

図2 コネクテッドサービスを利用しない理由(2024年)

国	利用料金の高さ	スマホに類似機能があるため	機能を知りたかった/サービスの提供がないため	有効化手順の複雑さ	サービスが有用ではないため	ネットワーク接続の不安定さ	その他
ブラジル	15	10	10	10	10	10	45
ドイツ	10	10	10	10	10	10	40
インド	10	10	10	10	10	10	40
日本	10	10	10	10	10	10	40
中国	10	10	10	10	10	10	40
韓国	10	10	10	10	10	10	40
英国	10	10	10	10	10	10	40
米国	10	10	10	10	10	10	40

少子高齢化による課題解決への貢献に期待

日本以外の国を見ると、中国、インドはサービスの利用率が80%と高く、米国、英国、ドイツでも24年の利用率は50%から60%の水準に達しており、利用が拡大しつつある。成熟市場よりも新興市場で利用率が高くなる要因は、新興市場の消費者はこれまでの自動車保有経験が少ないため、従来重視されてきた自動車の基本性能とコネクテッドサービスなどの新技术を同列の機能へのニーズが高い。

また北米米では盗難防止などの安全・防犯機能へのニーズが高い。

要素として捉えやすいのに対し、成熟市場の消費者はこれまでの自動車保有経験から、自動車の基本性能をより重視する傾向があるためだと考えられる。

中国では無料トライアルから有料契約への移行を希望する比率が80%を超え、サービスの利用率の75%から80%が利用体験に満足している。中国で好まれるコネクテッドサービスの機能は、一般的に移動中の娯楽機能と言われている。中国では特に都市部や長期休暇期間で頻発する交通渋滞で移動時間が長くなる傾向があり、快適に移動するための機能の選択を消費者が志向することには合理性がある。

また北米米では盗難防止などの安全・防犯機能へのニーズが高い。

日本では高齢ドライバーの増加やドライバー不足など、少子高齢化による社会的な影響が既に自動車産業の周辺でも顕在化。コネクテッドサービスを安全性向上、物流の効率化など日本が直面している社会的課題への対策として確立できれば、今後、他国でも進行が予想される少子高齢化対策として日本が主導的な役割を果たすことも期待される。

未来のテクノロジーを見る、人とくるまのテクノロジー展では、こうした日本の社会情勢に合わせたコネクテッドサービスの発表や、その普及を促す仕組みなどに注目したい。

S&Pグローバルモビリティ
オートモーティブインサイト
セールス 製品担当SME
野久尾 淳

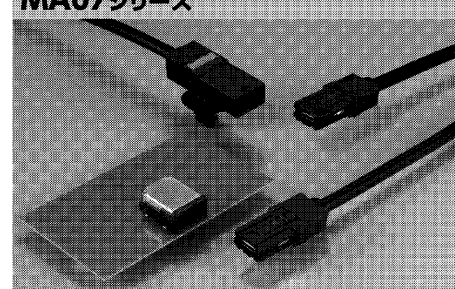
未来へつなぐ 技術の形

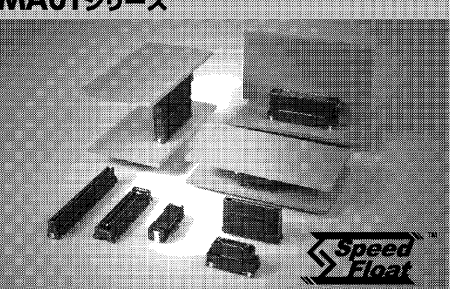
環境にやさしい社会に航空電子のつなぐ技術で貢献します。

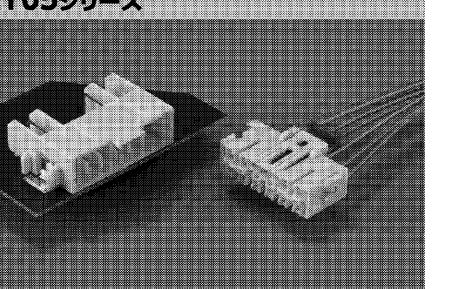


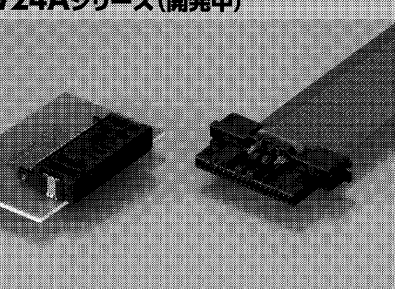
**透明フィルムヒーター (凍結、曇り防止機能)**
FHシリーズ

**高性能アンテナ**
AN01/02シリーズ

**車載用 USB 3.2伝送対応コネクタ**
MA07シリーズ

**高速伝送対応フローティングコネクタ**
MA01シリーズ

**定格電圧1000V BMS向けコネクタ**
MY05シリーズ

**FPC SMT対応 BMS向けコネクタ**
MW24Aシリーズ (開発中)

**日本航空電子工業株式会社**
国内営業拠点 仙台・宇都宮・東京・豊田・大阪・福岡
国内生産拠点 昭島(東京)・弘前(青森)・新庄(山形)・上野原(山梨)・松川(長野)・福井(福井)
海外拠点 アメリカ・メキシコ・イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スウェーデン・フィンランド・インド・シンガポール・フィリピン・香港・台湾・中国・韓国
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1
<https://www.jae.com>

NACHI

クルマの電動化に貢献するNACHIのベアリング

人とくるまのテクノロジー展
2025 YOKOHAMA 出展
5/21(水)~23(金) パシフィコ横浜

小間番号
380

ベアリング
耐電食軸受、超高速軸受、耐クリープ軸受、
希薄潤滑対応軸受、深溝玉軸受

カーハイドロリクス
小型2WAYアクチュエータ、
熱マネジメント用冷却制御弁

ロボット
ぶつからないロボットによる
ネジ締めアプリケーション

工具
バリレスシリーズ(ドリル・タップ・エンドミル)、歯切工具(スカイピングカッタ)

株式会社 不二越 www.nachi-fujikoshi.co.jp

SINFONIA

超高速
高トルク
高精度制御技術で、モビリティの未来をサポート!

試験装置

大容量・高速ダイナモメータ 次世代型超高速ダイナモメータ(開発中) バッテリーシミュレータ

簡易車両モデルのシミュレーション技術

車両試験用4軸ベンチの
デモンストレーションも実施!

シンフォニア テクノロジー 株式会社 <https://www.sinfo-t.jp/testing-systems/>

本社 / 東京都港区芝大門1-1-30 芝タワー
試験装置営業部
本社 / TEL : 03-5473-1833 名古屋支社 / TEL : 052-581-8474

その他さまざまな製品を出展します
展示ホール・ノース
ブースNo.120

不二越

不二越は「機能部品と加工をソリューションでクルマづくりをサポート」をテーマに、自動車向けベアリングを中心としたさまざまな自動車関連製品を出品する。EV化で問題となる電食に対応するベアリングなど、高性能な自動車用ベアリングのほか、小型2wayアクチュエータ、熱マネジメント用切替弁などの自動車用油圧機器を展示。また、ぶつからないロボット「MUS05」を使用したねじ締めユニットアプリケーションや、高品質な自動車部品を生み出す最新の切削工具も紹介する。

総合機械メーカーとして、カーボンニュートラルにも貢献する幅広い製品を展示し、ユーザーに役立つソリューションを提案する。

菊水電子工業

菊水電子工業は「パワーエレクトロニクス分野の評価&測定ソリューション」をテーマに、最新技術と製品を提案する。主力製品として、EV充電放電システムコントローラー「KEVシリーズ」や大容量双方向直流電源「PXBシリーズ」を展開するほか、今年リリース予定の大容量交流安定化電源「PCR-WEAシリーズ」の定電流機能付きモデルを参考出品する。

また展示ブースでは同社の主力製品を用いたEV充電放電テスト、モーターテスト、バッテリーテスト、オンボードチャージャー(OBC)テストなど、多彩な評価環境に対応する具体的なソリューションを紹介し、製品の特徴と魅力をわかりやすく伝える。



人とくるまのテクノロジー展

Automotive Engineering Exposition

パシフィコ横浜 21日 開幕

出展企業の製品・技術 順不同

E-LOCK

Edge Lock Nut
PAT.No.3164885
PAT.No.5957632

安全から安心へ!

SMART NUT

PAT.No.3182560

Point2
フリクションリング

Point1
SURFACE HOLLOW
構造(ザグリ)

人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA
●2025年5月21日(水)~23日(金) ●パシフィコ横浜
小間番号: 417 出展します

高いゆるみ止め効果を提供する
安心と安全のE-LOCKシリーズ

●2012年「超」モノづくり部品大賞 機械部品賞受賞(モノづくり日本会議)
●関西ものづくり新撰2015選定(近畿経済産業局)
●NETIS登録番号 KK-180059-VE(国土交通省)

振動が発生しやすく、ゆるむ可能性のある場所等に数多く使用されています。

ゆるみ止めナット・ブラインドナット、精密圧延品、システム開発

Osaka forming <https://www.forming.co.jp/>
大阪フォーミング株式会社 E-mail info@forming.co.jp

エイヴィエルジャパン

オーストラリア・AVLの日本法人エイヴィエルジャパンは、技術開発、実験設備、シミュレーションの3事業部が総力を結集させ、未来のモビリティを創造する「革新と効率」をテーマに「電動化開発」「水素・燃料電池開発」「グローバル規制への対応」「シミュレーション」「カスタマーサービス」の分野から製品サービスを紹介します。

日本初公開の3万回転e-アックスルや水素燃料エンジンなどの革新的な技術、欧州の新たな排ガス規制「ユーロ7」に対応するソリューションを披露。また、バーチャルと実機実験をシームレスに融合した開発プラットフォームや、先進的なシミュレーションの開発効率向上に向けた技術も提案する。

テクニカルサポート

テクニカルサポートは独自開発の高性能モーター研究開発総合システム「EMOTS(イーモツツ)」を紹介する。高性能化が著しいEVやHV、電動射出成形機、サーボプレス機などの研究開発現場にPRする。

イーモツツはモーターに負荷をかけた状態で性能を評価できる。さらに技術革新が早いセンシングやデータ処理、制御技術などのアプリケーションも自社開発のため、顧客の要望に合わせたシステムにカスタマイズできる。エンジニアが性能評価を代行する受託事業にも注力しており、レンタルラボとしてイーモツツを貸し出している。今年中には現状よりも大容量(300kg級)のベンチを導入予定。

キトー

キトーは「電動チエーンバランス」と「モバイルフライクレーン」を用いた、作業者や設置環境を選ばない搬送システムを紹介する。電動チエーンバランスは荷物をより上げると重さを瞬時に検知し、高い応答性により荷を浮かせたまま誰でも直感的な操作ができる助力装置。

モバイルフライクレーンは天井クレーンに比べ導入が容易な可搬式クレーンシステム。アンカー固定不要で、現場のレイアウト変更にも柔軟に対応できる。

つり荷に合わせたオーダーメイドのつり具も提供しており、重量物搬送の負荷軽減や繊細なワークの組み付け作業の効率化など、自動車製造現場が抱える課題に多彩な製品で応える。

Enabling Smart Vehicle

TE Connectivityの統合化、軽量化、
自動化技術で800Vシステムへの挑戦をフルサポート。
モビリティの未来を加速させます。

次世代の“つながり”を、
誰とつくりませんか?

人とくるまのテクノロジー展 2025
Automotive Engineering Exposition 2025

YOKOHAMA booth No.497
NAGOYA booth No.365

TE Connectivity Japan合同会社



日本航空電子工業

日本航空電子工業は持続可能で安全なモビリティ社会の実現に向けた各種コネクタ、アンテナを提案する。電動車（四輪／二輪）のモックアップを用いた接続イメージや、電動車用充電コネクタ（日本独自のEVの急速充電規格「CHAdeMO（チャデモ）」、米テスラの充電規格「NACS」準拠）の嵌合感を体感できるデモ、高周波やe-Mobility向けの各種コネクタ、車載機器・ユニット内装用に豊富なバリエーションをそろえたフローティングコネクタなどを展示する。

さらにウエアラブル機器向けのスマートテキスタイル対応コネクタや車載用透明フィルムヒーターも出品する。

TE Connectivity Japan

TE Connectivity Japanはコネクタやセンサー分野の世界的なリーディングカンパニーであるアイルランド・TE Connectivityの日本人。展示会では次世代車両の開発に向けて、課題解決に貢献する多様なソリューションを紹介する。

ソフトウェア定義車両（SDV）、800V高電圧、高速通信、軽量化、自動化、低コスト化といった自動車市場のトレンドを踏まえた製品・技術を披露。基板占有面積や組み付け工数の削減、アルミニウム電線による軽量化、ケーブルアセンブリの自動化、標準品による仕様最適化など、車両開発を支援する提案を行う。

コイワイ

型にはまらない鋳物屋のコイワイと、鋳物加工スペシャリストチームの青木製作所は、鋳物の試作・量産で培った技術力を生かし、新たに「サービスパーツ（補助部品）」の供給を開始した。メーカー廃業や型・治具の紛失などで供給困難となった部品が対象。独自の鋳造コンピュータ利用解析（CAE）や3Dプリンター砂型鋳造、熱処理技術による高精度な少量生産技術で、柔軟に供給が可能。世界最速クラスの砂型用大型3Dプリンター技術や3Dデータを活用した一貫製造によるハイクオリティ・ハイスピードな補助部品供給サービスを、コイワイグループのブース（展示ホールの小間番号451）で紹介する。

シンフォニアテクノロジー

シンフォニアテクノロジーは先進の電磁応用技術を生かし、最高回転速度毎分5万回転を実現した次世代型超高速ダイナモーターと、同2万5000回転と定格トルク500N・mを両立させた大容量・高速ダイナモーターを実機展示し、蓄積した技術力をPRする。

またラボラトリオートメーション（研究自動化）システム、モデルベース開発（MBD）装置など、効率のよい開発環境構築に役立つ試験アプリケーションを提案。簡易車両モデルのシミュレーション技術の紹介として、車両試験4軸ベンチのミニチュアでデモンストラーションも実施する。

日本端子

日本端子の「人とくるまのテクノロジー展」への出展は昨年の名古屋展に続き4回目で、横浜展では2回目となる。ブースはノース会場の小間番号78。

自動車のイラストを使い、対応する同社のコネクタを紹介する自動車模型展示コーナーや、独自技術を用いた端子構造で高い信頼性を発揮するカードエッジコネクタ「SesawEdge」、業界最小クラスのピンピッチ2・0ミリの防水中継コネクタ「Slim Ninja」など注目の新製品展示で構成する。同社は自動車の高性能化の機能部品に対応するコンパクトかつ組み立ての自動化に配慮した製品開発をコンセプトに、ラインアップを拡充している。

大阪フォーミング

大阪フォーミングは長年にわたり培ったステンレスの圧造技術で、求められる形状や材質に多様に対応できる技術の蓄積に取り組んでいる。

2022年3月に自動車や産業機械などに幅広く使われるステンレス製フランジナットの日本産業規格（JIS）認証を受けた。検査体制の充実化を図り、品質意識の向上と競争力強化につなげている。

緩み止めナットでは19年3月に国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録された「E-LOCK」に加え、新規に「TRES LOCK」を発売した。多様なユーザーへ対応できるように豊富な商品群を展開する。

所沢軽合金

所沢軽合金はアルミニウム、マグネシウムの砂型試作・量産鋳造およびアルミニウムの金型量産鋳造メーカー。試作・開発に短納期、高品質、一貫受注（完成納入）で対応する。

同社独自工法のダイレクトキャストは機械加工レスで、寸法誤差0・02ミリの高精度で鋳物を製作できる。また金型量産に関して、重力を利用して溶融金属を型に流し込むグラビティ鋳造をラインで行っており、月17日の生産能力を誇る。品質保証は非接触測定機や3次元測定機、X線CT（コンピュータ断層撮影装置）を用いて行っている。ブースではこれらの技術で製造した大型鋳造品（リアアンダーボディー）を展示する。



人とくるまのテクノロジー展
Automotive Engineering Exposition

21日－23日／パシフィコ横浜